

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 国際計測器株式会社

コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本 繁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松本 博司

TEL 042-371-4211

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,687	△39.8	△14	—	△138	—	△96	—
21年3月期第2四半期	4,466	—	327	—	385	—	279	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△6.88	—
21年3月期第2四半期	19.66	19.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	9,902	5,608	56.4	398.47
21年3月期	11,201	5,906	52.6	414.99

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,584百万円 21年3月期 5,892百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	12.00	30.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△36.9	500	△50.9	350	△68.5	200	△73.4	14.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	14,200,000株	21年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	184,500株	21年3月期	900株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	14,090,681株	21年3月期第2四半期	14,199,123株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き世界的な金融・経済危機による景気停滞の中で、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、厳しい状態が続いております。

当社の主力取引先である中国・東南アジア地区の自動車・タイヤメーカーの設備投資は改善しつつあるものの、国内自動車関連メーカーの設備投資については燃料電池等環境に配慮した研究開発分野に集中している状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、従来からの主力製品であるバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機だけでなく、前連結会計年度より本格的に事業展開しているサーボモータ方式各種振動試験機や包装貨物用評価試験機についても積極的な営業活動を行なってまいりました。当該試験機に関する営業活動は、自動車関連メーカーに加え、鉄道・建築・食品・家電関連メーカー等の研究開発部門を対象に広げることで景気停滞による業績への影響を軽減すべく展開しておりますが、主力製品の受注減少の影響を吸収することはできませんでした。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、26億8千7百万円（前年同四半期比39.8%減）、営業損失は1千4百万円（前年同四半期は3億2千7百万円の利益）、経常損失は1億3千8百万円（前年同四半期は3億8千5百万円の利益）、四半期純損失は9千6百万円（前年同四半期は2億7千9百万円の利益）となりました。

売上高の減収要因につきましては、自動車関連業界の新規設備投資が抑制されていることから受注が減少しており、自動車業界向けのバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機の売上が前年同四半期累計期間に比して大きく減少したこと、前連結会計年度において子会社である東伸工業株式会社の決算期変更（12月から3月に変更）を行ないましたが、第1四半期の時期（1～3月→4～6月）が3ヶ月ずれ込んだことにより、官公庁の年度末の1～3月に多くの納品、売上検収が集中する傾向がある同社の売上が減少したことが主たる要因であります。

利益面につきましては、引き続きコストダウンや子会社の人員削減、グループ全体の販売費及び一般管理費の削減等の努力をした結果、一定の成果を上げたものの、売上の大幅な減収による減益の影響を吸収できなかったこと及び急激な為替相場の変動により為替差損が発生したことが主たる要因であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、55億1千1百万円（前連結会計年度末比13億2千9百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が回収されたことにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比6億1百万円増）したものの、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比15億9千1百万円減）したことや当第2四半期連結会計期間に出荷が集中したため仕掛品が減少（前連結会計年度末比2億5千8百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、43億9千0百万円（前連結会計年度末比3千1百万円増）となりました。これは、のれんの償却によりのれんが減少（前連結会計年度末比3千5百万円減）したものの、株価の上昇等により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比3千5百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、31億3千1百万円（前連結会計年度末比7億9千0百万円減）となりました。これは、受注の減少により生産量が減少したため支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比5億1千3百万円減）したことや未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億2千3百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、11億6千2百万円（前連結会計年度末比2億9百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億9千1百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、56億8百万円（前連結会計年度末比2億9千8百万円減）となりました。これは、四半期純損失を9千6百万円計上したことや期末配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比2億6千7百万円減）したこと及び自己株式の取得により自己株式が増加（前連結会計年度末比1億4千8百万円増）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により11億9千0百万円増加し、投資活動により1億8千4百万円減少し、財務活動により5億9千7百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第2四半期連結累計期間に比べ3億9千8百万円増加し、15億1千7百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、11億9千0百万円の収入（前年同四半期比3億4千3百万円の収入増加）となりました。これは、受注の減少により生産量が減少したため仕入債務が5億2千0百万円減少したものの、売上債権の回収により16億2千6百万円増加したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1億8千4百万円の支出超過（前年同四半期比1千6百万円の支出減少）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が1億9千8百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が3億6千2百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5億9千7百万円の支出超過（前年同四半期比1億5千2百万円の支出増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が1億7千9百万円あったこと、自己株式の取得による支出が1億4千8百万円あったことや期末配当を実施したことにより1億7千0百万円支払ったことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月10日に公表いたしました通期連結業績予想及び平成21年5月15日に公表いたしました通期個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正ならびに役員報酬等の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,363	1,954,310
受取手形及び売掛金	1,724,312	3,315,896
有価証券	—	99,073
商品及び製品	181,309	206,486
仕掛品	432,898	691,804
原材料及び貯蔵品	358,549	383,174
繰延税金資産	146,040	115,135
その他	122,371	85,553
貸倒引当金	△9,330	△9,992
流動資産合計	5,511,516	6,841,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,582,240	1,579,308
機械装置及び運搬具	175,496	185,054
土地	1,671,673	1,669,151
その他	180,989	177,213
減価償却累計額	△987,671	△957,171
有形固定資産合計	2,622,728	2,653,556
無形固定資産		
のれん	211,688	246,969
その他	67,270	71,383
無形固定資産合計	278,958	318,352
投資その他の資産		
投資有価証券	107,966	72,487
長期貸付金	36,920	35,260
繰延税金資産	601	21,976
保険積立金	1,119,846	1,123,160
その他	261,761	208,677
貸倒引当金	△37,793	△73,911
投資その他の資産合計	1,489,303	1,387,649
固定資産合計	4,390,990	4,359,559
資産合計	9,902,507	11,201,001

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	682,769	1,196,576
短期借入金	1,579,000	1,667,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	353,340	341,420
未払法人税等	23,798	147,452
前受金	151,612	164,576
賞与引当金	61,240	81,302
製品保証引当金	126,767	123,447
その他	142,835	180,118
流動負債合計	3,131,363	3,921,894
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	704,710	896,345
繰延税金負債	83,691	76,772
退職給付引当金	163,730	171,322
役員退職慰労引当金	110,756	127,802
固定負債合計	1,162,888	1,372,242
負債合計	4,294,251	5,294,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	4,349,098	4,616,468
自己株式	△150,917	△2,044
株主資本合計	6,157,680	6,573,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,275	1,791
為替換算調整勘定	△595,226	△683,271
評価・換算差額等合計	△572,951	△681,479
少数株主持分	23,526	14,419
純資産合計	5,608,255	5,906,864
負債純資産合計	9,902,507	11,201,001

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	4,466,994	2,687,763
売上原価	2,951,415	1,713,126
売上総利益	1,515,578	974,637
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	101,294	110,958
貸倒引当金繰入額	4,902	—
役員報酬	102,360	66,740
給料手当及び賞与	246,316	227,282
賞与引当金繰入額	54,992	23,585
退職給付費用	△14,753	7,329
役員退職慰労引当金繰入額	4,000	4,267
運賃	112,218	66,213
減価償却費	20,943	17,737
研究開発費	14,527	60,409
その他	541,675	404,644
販売費及び一般管理費合計	1,188,478	989,168
営業利益又は営業損失 (△)	327,100	△14,531
営業外収益		
受取利息及び配当金	33,197	22,155
持分法による投資利益	—	21
為替差益	68,969	—
その他	12,753	12,288
営業外収益合計	114,920	34,465
営業外費用		
支払利息	24,280	19,864
持分法による投資損失	4,422	—
売上債権売却損	1,179	10,481
支払手数料	20,000	13,117
為替差損	—	94,998
保険解約損	—	18,231
その他	6,262	2,086
営業外費用合計	56,144	158,781
経常利益又は経常損失 (△)	385,876	△138,847
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	40,757
賞与引当金戻入額	—	17,001
特別利益合計	—	57,759
特別損失		
固定資産除却損	239	441
固定資産売却損	326	261
特別損失合計	566	703

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	385,310	△81,792
法人税、住民税及び事業税	198,656	8,089
過年度法人税等	—	14,564
法人税等調整額	△95,881	△15,602
法人税等合計	102,774	7,050
少数株主利益	3,415	8,138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	279,120	△96,981

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	385,310	△81,792
減価償却費	53,054	45,326
のれん償却額	35,281	35,281
持分法による投資損益(△は益)	4,422	△21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,866	△38,127
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,747	△20,408
製品保証引当金の増減額(△は減少)	46,405	2,943
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△52,785	△7,944
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,000	△17,046
受取利息及び受取配当金	△33,197	△22,155
支払利息	24,280	19,864
為替差損益(△は益)	△21,347	40,296
売上債権の増減額(△は増加)	1,145,952	1,626,346
たな卸資産の増減額(△は増加)	△273,357	308,916
仕入債務の増減額(△は減少)	△240,201	△520,853
前受金の増減額(△は減少)	41,302	△10,627
その他	△31,275	△14,280
小計	1,163,459	1,345,719
利息及び配当金の受取額	15,804	16,344
利息の支払額	△22,949	△21,362
法人税等の支払額	△309,404	△150,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	846,908	1,190,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△182,855	△362,712
定期預金の払戻による収入	104,175	198,100
有形固定資産の取得による支出	△28,890	△3,578
無形固定資産の取得による支出	△13,391	—
保険積立金の積立による支出	△100,325	△99,303
保険積立金の解約による収入	—	84,385
その他	19,966	△1,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,321	△184,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	103,000	△88,000
長期借入金の返済による支出	△112,698	△179,715
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△65	△148,873
配当金の支払額	△425,462	△170,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,226	△597,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,853	△23,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	203,215	384,222
現金及び現金同等物の期首残高	915,900	1,133,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,115	1,517,400

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<p>退職給付費用</p> <p>退職給付費用がマイナスとなっている主たる要因は平成20年6月1日より適格退職年金制度から確定給付企業年金制度(規約型)への移行に伴うものです。</p>	—

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社及び連結子会社の事業は、計測器の製造、販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	韓国 (千円)	中国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	3,913,436	227,624	226,539	93,064	6,329	4,466,994	—	4,466,994
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	251,877	39,446	249,168	85,424	29,900	655,818	(655,818)	—
計	4,165,314	267,071	475,707	178,489	36,230	5,122,812	(655,818)	4,466,994
営業利益又は 営業損失(△)	380,095	△32,247	56,055	△34,281	8,904	378,525	(51,424)	327,100

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が3,830千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	韓国 (千円)	中国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,205,841	249,077	162,218	67,408	3,217	2,687,763	—	2,687,763
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	131,563	3,471	64,338	43,782	33,781	276,936	(276,936)	—
計	2,337,404	252,548	226,557	111,191	36,998	2,964,700	(276,936)	2,687,763
営業利益又は 営業損失(△)	4,253	11,529	19,283	△20,743	19,141	33,465	(47,997)	△14,531

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	米州	中国	アジア (中国を除く)	その他	計
I 海外売上高（千円）	228,967	1,151,356	683,880	81,000	2,145,203
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,466,994
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	5.1	25.8	15.3	1.8	48.0

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 各区分に属する主な国又は地域

- ①米州・・・・・・・・・・米国、メキシコ
- ②アジア（中国を除く）・・韓国、タイ、インドネシア、インド
- ③その他・・・・・・・・・・ポーランド

(注3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	米州	中国	アジア (中国を除く)	その他	計
I 海外売上高（千円）	230,444	709,755	862,115	24,774	1,827,089
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	2,687,763
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.6	26.4	32.1	0.9	68.0

(注1) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

(注2) 各区分に属する主な国又は地域

- ①米州・・・・・・・・・・米国、ブラジル
- ②アジア（中国を除く）・・韓国、タイ、インドネシア、インド
- ③その他・・・・・・・・・・トルコ

(注3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社は、平成21年5月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、第1四半期連結会計期間において自己株式を183,600株取得しております。この結果、第1四半期連結会計期間において自己株式が148,873千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は150,917千円となっております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	生産高(千円)	構成比(%)	生産高(千円)	構成比(%)	生産高(千円)	構成比(%)
バランスングマシン	2,859,715	63.0	1,849,568	68.8	5,590,208	58.7
シャフト歪自動矯正機	456,370	10.1	121,709	4.5	731,969	7.7
その他	1,221,060	26.9	717,351	26.7	3,203,908	33.6
合計	4,537,145	100.0	2,688,628	100.0	9,526,085	100.0

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

①受注高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)
バランスングマシン	3,600,531	72.0	2,160,472	64.0	3,853,821	54.4
シャフト歪自動矯正機	289,450	5.8	221,350	6.5	458,024	6.5
その他	1,110,684	22.2	995,799	29.5	2,773,450	39.1
合計	5,000,667	100.0	3,377,622	100.0	7,085,296	100.0

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注残高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	受注残高(千円)	構成比(%)	受注残高(千円)	構成比(%)	受注残高(千円)	構成比(%)
バランスングマシン	4,935,978	79.1	2,412,046	69.5	2,254,986	75.6
シャフト歪自動矯正機	291,164	4.7	231,345	6.7	174,820	5.9
その他	1,013,637	16.2	827,236	23.8	551,588	18.5
合計	6,240,781	100.0	3,470,628	100.0	2,981,396	100.0

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
バランスिंगマシン	2,799,262	62.7	1,851,402	68.9	5,556,088	58.4
シャフト歪自動矯正機	446,670	10.0	121,728	4.5	728,756	7.7
その他	1,221,060	27.3	714,632	26.6	3,219,184	33.9
合 計	4,466,994	100.0	2,687,763	100.0	9,504,029	100.0

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。